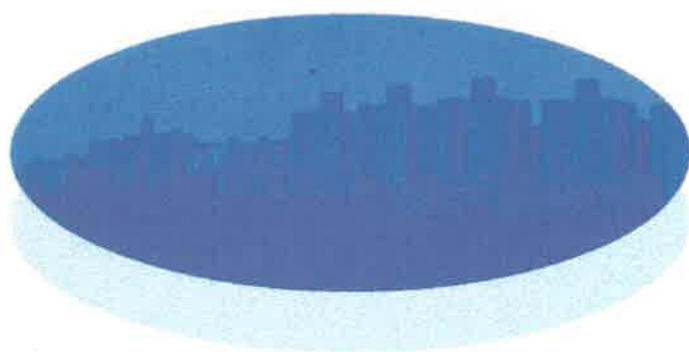




都市景観基本計画

春日井市



●都市景観とは

都市景観とは五感と心に映る都市の風景である

都市景観とはその都市の持つ心の豊かさを表現するものである

都市景観は、都市を直接構成する緑・水などの自然や、建築物・工作物などのように人の目に映る都市の風景に限らず、市民によるいきいきとした都市活動から生まれる雰囲気・文化的香り・心象風景など、視覚的要素以外のものをも含む幅広いものです。

とりわけ、人々の身近に位置する環境や積み重ねられてきた年月が持つ文化や雰囲気は、人々の心に強く印象づけられます。

また、都市内の各地域の沿革や特性、特性を狭域的あるいは広域的に形づくる個々の要素、それに要素間の相互関係は、一体となって都市全体の印象のとらえ方を規定します。

このように都市景観は、人々が都市から受けとめる印象を心を通して総合的に表現したものであり、それは都市の持つ心の広がりや豊かさにほかなりません。

さらに、都市景観は、これをとらえる側の生活体験、感性などによって、様々にとらえられるものです。

都市景観の目的と理念

●目的

市の特性を生かした魅力と個性ある都市景観の形成

都市景観は、目に見えるものだけではなく、住む人々の特性や産業構成、それにまちの成り立ち等、目には見えない種々の属性をも含んでいます。また、過去から現在までまちが発展してきた過程や、これからのまちづくりの方向性は、まちの個性を形づくる都市景観に対して重要な意味をもっています。

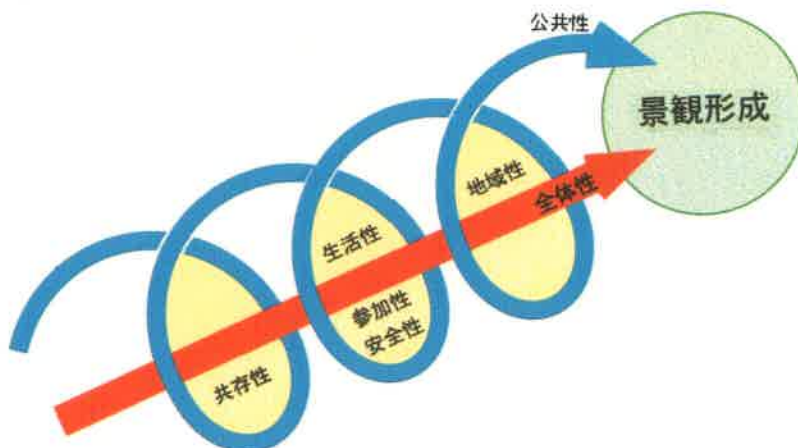
市民が愛着を持ち誇りうるまちづくり

都市景観の形成の推進にとって重要なことは、都市景観の構成要素や雰囲気をも市民が自らのライフスタイルの中に取り込み、市民がまちに対する愛着と誇りを持ち、さらに都市景観の形成に共感の気持ちを抱くことです。

●理念

- 春日井市の都市像の実現に寄与する景観形成（全体性）
- 春日井らしい個性的な景観形成（地域性）
- 居住者にとって親しみやすい景観形成（生活性・参加性・安全性）
- 街並みや周辺環境が調和した景観形成（共存性）
- 将来的にストックとなるような景観形成（公共性）

春日井市の景観形成は、春日井市第三次総合計画に示されている都市像である「市民が住み、働き、学び、憩うことのできる自立性の高い都市」の実現に寄与し、春日井らしさを表現しながら、市民にとって日常の生活感と親しみやすさ、さらには日々の安心感が感じられるものでなければなりません。また、まちの中にあるさまざまな景観を構成する要素が調和し、互いに共存しながら、将来への景観的ストックとなるように配慮していくことが必要です。



●基本目標

人と緑奏でる春日井ルネッサンス

春日井市は、高蔵寺ニュータウンに代表されるように、大都市近郊の住宅都市としてのイメージが強い都市です。そこでは、土地区画整理事業による計画的な都市基盤整備により、比較的整然とした都市空間が形成されています。この白いキャンバスとも言える新しい市街地に「質の高い緑」を描くとともに、「人々の豊かな生活」も描き込むことが、今後の課題といえます。

そして、ヒューマンスケールの景観形成を行うためには、ヒューマニティー（人間性）を重視した視点が必要となります。

そこで、今後の景観形成の指針となるテーマとして「人と緑奏でる春日井ルネッサンス」を掲げます。

これは、緑の豊かさを基調とした景観づくりであり、まちの諸要素と人々の生活が調和し、人々がやすらぎ、憩うことのできる緑に包まれた景観形成を目指すものであります。

また、ヒューマニティーに基づく景観形成、すなわち人々の身の回りの環境を重視した景観を形づくることにより、人間が人間らしく、やすらぎ、落ち着き、美しさを満喫できる景観の形成を推し進めます。

●景観形成を具現化する3視点

景観形成の対象となる要素のもつ特性を3つの視点から明確にし、それぞれの特性を生かした景観形成を図ります。

○都市構造を明確にする都市レベル景観

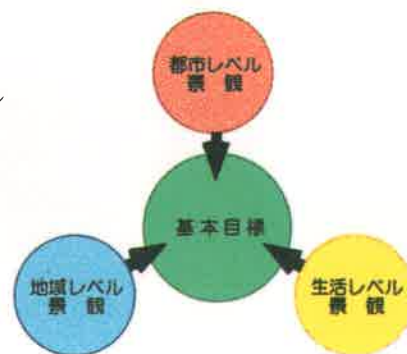
- シティアイデンティティに沿った景観形成
- 都市拠点および都市骨格軸の個性化
- 都市拠点間のネットワーク化
- 景観をしゃ断せず、調和する機能をもつ都市骨格軸の形成

○地域の特性を生かした地域レベル景観

- 市街地：「人と緑」の調和を図る景観形成
- 自然地：地域の「自然」を生かす景観形成
- 地域軸：市街地と自然地の景観ネットワーク

○生活環境の向上を目指した生活レベル景観

- 「人」の生活を考え、多くの「緑」を配置した景観形成
- 住区内公園・河川・道路等公的領域の景観上の活用
- 敷地・建物等の配置に考慮した、境界領域の景観形成
- 放置自転車・空き地の雑草等、生活に密着した環境問題をとらえた景観形成



構成要素別基本計画

都市の景観は、自然的なもの、人工的なもの、歴史的なもので構成されています。

特に自然地、市街地の特性を生かすことは、景観形成の目標として重要なことです。

この構成要素別基本計画では、春日井市の景観を構成する要素に着目し、全域的な景観のレベルアップを目標とします。

構成要素		構成要素に含まれるもの
自然環境要素	●丘陵地 ●緑 ●水辺	山並、丘陵 自然緑地、施設緑地、市街地の緑、公園、緑道、田圃 河川、池、せせらぎ
交通要素	●交通	道路、橋梁、駐車場、鉄道、駅
市街地要素	●公共建築物 ●住宅 ●商業業務施設 ●工業施設 ●広告物等	公共建築物 低層住宅、中高層住宅、集落 ロードサイド型、拠点型、商店街、業務施設 工業施設 屋外広告物、サイン
文化歴史的要素	●史跡 ●街道・街並 ●伝統行事	史跡、歴史的建造物 街道・街並 まつり

■自然環境要素

●丘陵地

山並：背景となる山並みのシルエットを守る。



・山の豊かな緑と稜線を保全する。

丘陵：丘陵地から市街地への眺望を活用する。



・眺望のきいた景観を保全する。

●緑

自然緑地：広がる緑として東部丘陵の自然を守る。



・緑豊かな山並や稜線、自然植生を保存する。

施設緑地：身近な緑として人の集まる施設周辺の緑化を図る。



・幹線道路では、緑化を推進し、緑のネットワークを形成する。

市街地の緑：生活の場における緑を増やす。

公園：緑の拠点として公園景観の向上を図る。



・公園を生かし、高質な緑を確保する。

緑道：緑の軸として緑道のネットワークの強化を図る。



・緑道では、楽しみながら歩くことのできる空間を形成する。

田園：緑で覆われた広がりのある落ち着いた田園風景の保全に努める。



・市街地との調整を図りつつ、広がりのある田園風景を保全する。

●水辺

河川：軸としての統一性を演出する。
広い河川敷を生かし、親水性のある空間を創出する。
自然味あふれる渓谷美の景観を保全する。



・自然味あふれる美しい河川景観を創出する。

池：自然を生かした水辺を形成する。



・緑や水辺を生かし、親水性の高いレクリエーション空間を形成する。

せせらぎ：身近なところに親水空間を創出する。



・市街地内の身近なところに親水空間を創出する。

■交通要素

●交通

道路：沿道の風景に調和した道路空間を創造する。
主要交差点でのポイント性を強調する。
道路としての連続性を演出する。
橋、高架下部の圧迫感をやわらげる。



・主要な交差点では、ポイント性を強調する。

橋：橋梁の持つ個性を生かしたイメージアップを図る。



・大規模河川に架かる橋梁では、ゲートウェイとして、イメージの向上を図る。

駐車場：施設周辺の風景にゆとりを与える。



・駐車場では、周辺緑化のみでなく、駐車場内においても緑化を図る。

鉄道：緑あふれ、秩序ある車窓風景を演出する。



・田園や樹林地を生かし、緑豊かな車窓風景を演出する。

駅：拠点駅での風格のある駅前空間を創造する。
生活駅での落ちつきある景観形成を図る。

■市街地要素

●公共建築物

公共建築物：親しみやすく、周辺との調和を図る。

・親しみやすいものとするため、色彩、形態、地域特性に配慮する。



●住宅

低層住宅：緑あふれ、落ち着きと安らぎのある低層住宅地を創出する。

統一性と秩序ある街並みを創造する。

・緑あふれ、統一性のある住宅地を形成する。



中高層住宅：周辺に緑を創出し、周辺地域と調和した中高層住宅地を形成する。

・色彩や形態、屋外設備において、視覚的な配慮を行う。



集 落：のどかで趣ある集落地の風景を生かす。

・集落の持つ、のどかな景観を保全する。



●商業業務施設

ロードサイド型：各店舗の個性を生かし、にぎわいと連続性のあるロードサイド型の商業空間を演出する。



・にぎわいのある沿道空間を創出する。

拠点型：地域のランドマークとして演出する。店舗の高質化により洗練された都市空間を形成する。



・地域の顔となり、にぎわいのある空間を形成する。

商店街：地域の特性を生かした連続性のある商業空間を形成する。



・個々の商店街の特性をモチーフに統一性のある商業空間を形成する。

業務施設：周辺の雰囲気への配慮と個性的な表情を演出する。



・壁面のデザイン化やエントランスの工夫により、個性的な表情を演出する。

●工業施設

工業施設：緑化を推進し、周辺地域との調和を図る。

・壁面のデザイン
化や緑化により、
周辺住宅地との調
和を図る。



●広告物等

屋外広告物：周辺環境と調和した屋外広告物を創
出する。

・屋外広告物の統合化、デ
ザイン化により、街並みの
雑然さをなくす。



サイン：わかりやすく親しみのあるみちすじを
示す。

・形態やデザイン
の統一化によっ
て、わかりやすさ
を強める。



■歴史的要素

●史跡

史跡・歴史：歴史的遺産の保全に努め、その歴史的
的建造物 情緒を演出する。

・歴史的遺産を保全してい
くとともに、周辺に歴史的
情緒を演出する。



●街道・街並

街道・街並：街道としての軸性を高めるとともに、
その面影を保全する。

・昔ながらの街道
では、その面影を
残す歴史的な要素
を保全する。



●伝統行事

まつり：市民の郷土意識を高め、春日井の伝統
を受け継ぎ育む。

・市民のまつりに
対する理解を深
め、郷土意識の高
揚を図る。



ゾーン別基本計画

景観からのゾーニング

ゾーン別基本計画では、都市構造を明確にするとともに、地域の特性を生かした景観形成を推進します。

●ゾーンごとの特性と方針.....

A ゾーン

市のシルエットとなる山地を主要素に
歴史・文化を秘めるゾーン

特
性

本市の背景となる山並みをひかえた自然味あふれるゾーンです。ここでは、山裾に昔ながらの雰囲気を与える建造物、集落、社寺があり、後方の山並みとあいまって美しい景観をみせているほか、市の境界にもなる庄内川では、溪谷美を見せる玉野川溪谷があります。また、多くのレクリエーション活動ができる場を提供することを目的とした計画を有し、将来的には自然と人が交流することのできるゾーンです。

方
針

- 背景となる山の稜線をまもる。
- 緑と調和した歴史的情緒を感じる空間をつくる。
- 自然と人が触れあう空間をつくる。
- 人工的要素を自然景観と調和させる。



・築水池周辺では、自然を生かし、市民の憩い森としての形成を図る。

B ゾーン

緑豊かな山並みを背景に、
起伏に沿って整えられた街並みが形成されるゾーン

特
性

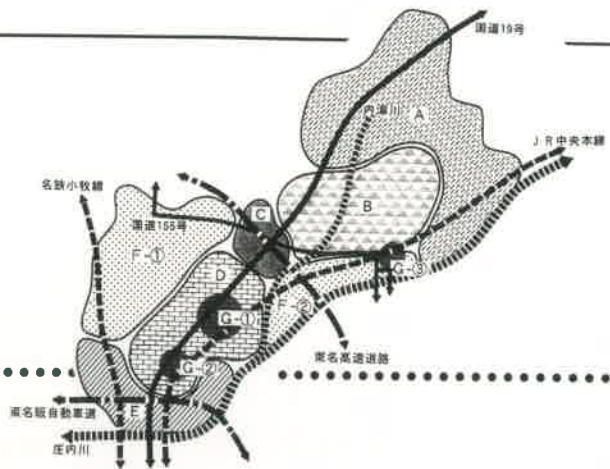
Aゾーンの緑豊かな山並みを背景に、起伏に沿った団地開発により整えられた街並みが形成されるゾーンであり、その丘陵地に建つ中高層住宅、中部大学はランドマークとなっています。また、このゾーンの核となるニュータウンセンター地区や、地形の変化や傾斜地を効果的に利用した高森台サービスインダストリー・誘致施設地区は、多くの施設が集約している地区です。

方
針

- 緑あふれ、背景の山並みと調和した住宅地を創造する。
- 起伏を生かし、緑に富んだまちをつくる。
- 地域の核となる施設を演出する。



・白山線など起伏のある道路では、眺望を楽しむことのできる空間を形成する。



Cゾーン

春日井 I.C. を中心にうるおいある空間が形成され、また都市機能の充実を図るための複合拠点として調査研究が進められているゾーン

特性

東名高速道路の春日井 I.C. があり、車による本市のゲートとしての役割を担っています。その周辺には、田園や公園、緑道があり、うるおいと憩いの場を市民に提供しています。

また、自然地と市街地との境に位置し、その調和が求められるゾーンであるとともに、春日井 I.C. 周辺の好立地条件を生かした商業・アミューズメント・物流・生産・研究開発などの都市機能の充実を図るための調査研究が進められているゾーンです。

方針

- 市のゲートを演出する。
- 水辺や緑を生かした憩いの空間をつくる。
- 緑と調和した都市機能の充実を図るための複合拠点を創造する。



・国道19号・国道155号の交差点では、主要結節点としてのイメージの向上を図る。

Dゾーン

ゆとりある住宅地をベースにし、本市の核となる中心市街地・勝川駅前地区がロードサイド型のにぎわいのある商業空間によってつながれるゾーン

特性

中心市街地・勝川駅前地区の2つの本市の核となる地区が、国道19号沿いに形成されるにぎわいあるロードサイド型の商業空間によってつながれ、これを軸に土地区画整理事業によって形成されたゆとりある住宅地が南北に広がるゾーンです。

方針

- 親しみのある快適なまちをつくる。
- 都心部に近い成熟した住宅地の景観を整える。



・国道19号沿道では、にぎわいのある空間を形成する。

Eゾーン

工業機能を主に商業・住宅機能など複合的機能を持つゾーン

特 大規模な工場や中小工場が集積するゾーンです。その他に、住宅や商業も存在しており複合的な機能もっています。

性 また、東名阪自動車道や庄内川に架かる橋はランドマークとして、またゲートとしての役割を持っています。

- 方針**
- ランドマークを生かし都市のシンボルを形成する。
 - 史跡や街道などの歴史的景観をまちに生かす。
 - 調和のとれた住工商複合の街を形成する。



・味美駅周辺では、地域に密着した商業空間として、にぎわいのある歩行者空間を演出する。

Fゾーン

田園・住宅・歴史的要素が調和したのどかな住宅地景観の中に小規模ながらも商業・工業機能を持つゾーン

特 集落地の中に密蔵院や古墳をはじめとする歴史的要素を有し、田園と調和するのどかな風景を見ることが出来ます。また一方では、土地区画整理事業などが進み、整然と建ち並ぶ住宅や商店街、大小の工場が点在する複合的な機能をもつゾーンでもあります。

F-①ゾーン

- 方針**
- 田園と住宅が調和したのどかな景観を形成する。
 - 緑と水辺を生かす。
 - ゆとりと落ちつきのある住宅地をつくる。
 - 歴史の趣が生きる風景を演出する。

F-②ゾーン

- 水辺を活用したうるおいのあるまちをつくる。
- 歴史の趣と集落とが調和したまちをつくる。
- ゆとりとうるおいのある住宅地をつくる。



・緑と水辺を生かしたゆとりある歩行者空間の整備により、ふれあいの場を形成する。



・内津川放水路を生かし、住宅地にうるおいのある空間を提供する。

Gゾーン

大規模な計画を有し、

本市において拠点となるべく地区および駅を中心としたゾーン

特
性

中心市街地および勝川駅、高蔵寺駅を中心とする地区です。

この3つの地区は、大規模な計画などによる市の拠点となる地区であり、またJR各駅を有する市の玄関口ともなる地区です。

G-①ゾーン

○市の玄関口となるまちをつくる。

鳥居松、JR春日井駅周辺では、市の玄関口として配慮し、魅力にあふれ、回遊性のある都市拠点を創造していきます。

G-②ゾーン

○西のゲートとしてのシンボル性を高める。

土地区画整理事業、再開発事業、JR中央本線の高架化などの総合的な整備により、地域のシンボル性を高め、本市の西のゲートとして演出を図ります。

G-③ゾーン

○東のゲートとして親しみのある空間をつくる。

高蔵寺ニュータウンへの玄関口として、落ちついた景観をもちながら、拠点にふさわしいまちを形成していきます。

方
針



・市役所及びその周辺では、市の顔となる空間の形成として、質の高い緑の創造や人々が憩うことのできる空間を創造する。



・駅につながる商業空間では、商店街としてのにぎわいの創出と散策性の向上を図る。



・高蔵寺駅へのアプローチでは、駅への視覚的な誘導性を高める。

●都市景観形成の展開

市民・事業者、行政が一体となって景観形成を推進する。

都市のほとんどの部分は、時を重ねた人々の生活や事業者による活動によって、形づくられて行くものです。その中で、理念に基づく良好な景観形成を実現するためには、市民・事業者、行政が一体となった取り組みが必要となります。そのためには、都市景観条例や都市景観基本計画の基本的な目標と方針を認識し、総合的かつ計画的に、市民・事業者、行政がそれぞれ自らの役割を認識し実行していかなければなりません。

●行政の役割

行政としては、調和のとれた個性的で緑豊かな都市景観の形成のため、都市景観条例に示された事項や都市景観整備に関する整備手法などを駆使しながら総合的に推進していきます。

その中でも、都市景観条例に示されている都市景観形成地区の指定、都市景観形成建築物・樹木・樹林等の指定、大規模建築物・工作物等の届出、都市景観市民団体の認定および表彰・助成などを通じながら、市民・事業者における景観形成の気運づくりを図ります。また、こうした事項については、行政のみの考えに基づいて推進していくのではなく、都市景観審議会において市民の意見等を反映していきます。

また、市民の自主的な活動や行動を誘発するため、景観形成事業を積極的に進め、景観形成における先導役を担うよう努めていきます。その他、関係法令の活用、推進体制の確立、景観に対する調整などを行っていきます。

[行政の役割]

～都市景観条例に基づいた支援・先導的な取り組みを行う～

- 指針を明示する。
- 景観形成を誘導する。
- 景観形成事業を推進する。
- 市民・事業者の啓発を図る。
- 推進組織・体制を充実する。

●市民・事業者の役割

都市空間はすべての市民のかけがえのない共有財産であり、調和のとれた個性的で緑豊かな都市景観の形成がうるおいとやすらぎのある健康で文化的な市民生活の確保につながるものです。そして、市民・事業者においては、自らが都市景観を形成する主体であることを認識することが必要です。

その上で、この計画書に示した「ゾーン別基本計画」の方針を踏まえ、各ゾーンに求められる望ましい姿を目標に、市民や事業者のそれぞれが地域の景観形成のあり方や自らのまちのあり方を考える場への参加が必要となります。

とりわけ境界領域を構成する建築物のファサードや塀、垣根などは都市景観を構成する重要な役割を担うものであるため、特に配慮が必要です。市民・事業者が協力しながら、各地域毎の都市景観の将来像を示す指針に従い、景観形成に配慮していくことが自らの持つ責務であり、果たしていかなければならない役割です。

また、良好な都市景観を維持していくためには、身近なことに対する取り組みも必要であり、ゴミの投げ捨て、自転車の放置、違反駐車、簡易看板や置き看板等の放置など社会的モラルやルールに反することをなくしていくことから始まります。

さらに、こうした地域の将来像に沿って、市民・事業者が建築行為を行う際には、周辺との調和に配慮し、個性と創造性を発揮しながら景観形成を推進することが必要であるとともに、行政によって計画・実施される都市景観に関する施策に協力・参加していくことも望まれます。

[市民・事業者の役割]

- 市民運動を展開する。
- 啓発事業へ参加・協力する。
- 建築行為、緑化推進、緑の保全などに際して景観的な配慮を行う。